

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定期株主総会 6月
基準日 3月31日
なおその他必要があるときは、あらかじめ公告した日

株主名簿管理人 〒100-8212
東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
〒100-8212
東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話（通話料無料）0120-232-7111
※株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の電話及びインターネットでも24時間承っております。
電話（通話料無料）
0120-244-479（本店証券代行部）
0120-684-479（大阪証券代行部）
インターネットホームページ
<http://www.tr.mufg.jp/daikou>

同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
一単元の株式数 100株
公告方法 日本経済新聞
届出諸事情の 住所、氏名、届出印、法人株主の代表者あるいはその役職名、
変更について 商号、配当金の振込口座等の変更は、三菱UFJ信託銀行の本店・支店*でお手続きください。
※お手続きについては、株式会社証券保管振替機構に株券を預託されている場合には、お取引の証券会社にお申し出ください。

株式会社エイジスは、株主の皆さまへの利益還元のひとつとして株主優待制度を実施しております。



●割当基準日 9月末日

●優待内容

100株以上1,000株未満所有の株主様

お米券3kgを贈呈いたします。

1,000株以上10,000株未満所有の株主様

お米券5kgを贈呈いたします。

10,000株以上所有の株主様

お米券10kgを贈呈いたします。

第31期 中間報告書

平成19年4月1日から平成19年9月30日まで

“Low Cost Operation”時代の棚卸システム

aji'sエイジス

aji'sエイジス

株式会社 エイジス

〒262-0032 千葉県千葉市花見川区幕張町4-544-4
TEL：043-350-0888 FAX：043-350-0800

●コーポレートマークの由来

ロゴマークは、ローマ字・キータッチ・カタカナの三位体で構成されています。またエイジスのコーポレートカラーである白・青・赤は、白=お客様に対して誠実に仕事をする姿勢、青=冷静・沈着な作業態度、そして赤=エイジスマン・ウーマンの胸に秘めた情熱を表しています。





代表取締役社長 齋藤昭生

創業30周年の当中間期も増収増益を達成。 「成長に向けた三つの柱」に基づく戦略を 強力に推進しています。

第31期中間期の決算概要と その背景についてお聞かせください。

おかげさまで、今年創業30周年を迎えた当中間期は計画を上回る増収増益を達成しました。当中間連結売上高は8,707百万円（前年同期比15.9%増）、営業利益1,082百万円（同24.9%増）、経常利益1,098百万円（同24.8%増）、そして中間純利益は651百万円（同22.4%増）となり、高い水準での成長を継続することができました。

その理由として、当社グループにとって市場環境が追い風になったことがあります。具体的には、流通小売業でSKU棚卸（商品のバーコードと在庫数量で棚卸を行い、単品レベルで在庫数量を確定すること）への移行が顕著になり、付加価値の高いサービスへの需要が増えたこと、また、アパレルや100円均一ショップなどのその他の業態の好調な出店による需要拡大などです。そしてM&Aの増加により、規模を全国に拡大したお客様の多くに、日本で唯一、全国で均一のサービスを提供できる当社を選んでいただきました。

分野別に見ますと、実地棚卸サービス事業では、積極的

な顧客開拓が奏効し、従来未開拓であった家電量販店などからの受注が増えています。また、需要拡大に合わせて、科学的手法を導入した新棚卸オペレーションの導入によるコスト削減効果も出ています。

海外では、大手コンビニエンスチェーンの獲得などで、堅調に成長し重要性の増したエイジスビジネスサポート㈱（エイジス韓国）を当期より連結の範囲に含めました。海外棚卸受託収入の売上高は189百万円となりました。

人材派遣事業のエイジススタッフサービス㈱は前年同期比64.7%増の778百万円の売上高を達成。これは既存顧客のレジ派遣および集中補充等の受注増によるものです。

また、その他の流通業周辺サービス事業は、カスタマーサービス・チェック事業部門を分社化したことにより、売上高が減少し、売上高は85百万円となりました。

「成長に向けた三つの柱」について お聞かせください。

発展を続けるエイジスグループのさらなる成長に向けて、当社グループでは次の三つの経営戦略を推進しています。

- 圧倒的な強さを誇る棚卸ビジネス事業のさらなる強化
- リテイルサポートサービスのさらなる拡大
- 海外市場への展開

まず「棚卸ビジネス事業のさらなる強化」においては、創業以来30年をかけて修得してきた米国の棚卸システムに、科学的手法（I.E./インダストリアル・エンジニアリング）を加えた世界最高水準の棚卸技術の確立に向け、継続的な投資を行ってまいります。当中間期より「棚卸技術開発室」を新設、開発スピードを加速してまいります。

そして、未開拓先への営業強化や、同時に本部組織および全国のD.O.（営業所）組織の強化を積極的行ってまいります。またISO9001認証取得にも取り組んでまいります。

次に「リテイルサポートサービスのさらなる拡大」では、棚卸サービスを全ての基礎にしながら、流通小売業が求める棚卸以外のサービスを提供してまいります。棚卸業務は、200種類以上あるといわれる流通小売業の店内作業のひとつです。当社には、チェーンストアのお客様からは、棚卸以外のサービスのご要望が数多くあります。そうした需要に応え、エイジススタッフサービス㈱を通したチェーンストアの各種業務のアウトソーシング受注を行うと共に、単なる人材派遣ではない新しいビジネスモデルの創出に取り組んでまいります。

エイジススタッフサービス㈱の強みは、当社の顧客資産を営業に活用することができること、そして棚卸サービス作業を通じて訓練・教育された人材を全国に大量動員できることです。レジ派遣や集中補充を中心に受注は増加傾向にあり、今後はサービスの範囲を拡大し、店内作業のさらなる効率化に貢献してまいります。

一方、カスタマーサービス・チェックでも、当社グループの顧客資産活用による業容拡大に取り組んでまいります。認知度向上のための広告掲載や、米国のノウハウを導入することによる効率的で標準化されたオペレーションの確立など、さらなる拡大に向けた戦略を積極的に推進してまいります。

「海外市場への展開」では、成長著しいアジア市場をターゲットに、高い競争優位性を持つ実地棚卸サービスを提供してまいります。当面の目標は、既にEマートや三星テスコなどの大手チェーンの棚卸を受注しているエイジス韓国が韓国でNo.1の地位を確保することです。当中間期にはエイジス韓国第3の拠点として「テジョンサテライト」（出張所）を開設し、今後はさらに韓国全域に広がるコンビニエンスストア獲得に向けた積極的な営業展開を推進してまいります。将来的には、日本同様、韓国でもチェーンストアの増加による市場拡大が見込まれ、日本で培ったノウハウおよびシステムを活かして揺るぎないポジションを確立してまいります。

また、将来の中国進出を見据えた準備を専門部署を新設し、慎重に進めております。

最後に、株主様へのメッセージを お願いいたします。

平成20年3月期決算においても、売上高、営業利益ともに増収増益を達成する見込みです。期末配当金は、平成19年3月期の普通配当40円から5円増配の45円を予定しております。

チェーンストアの発展は、社会の流通インフラとして機能することにより、物価を下げて生活の利便性を向上させるなどの効果を生み出します。当社グループのビジネスは、チェーンストアの業務を実地棚卸サービスやリテイルサポートサービスによってサポートすることです。当社グループのビジネスの発展は、日本のチェーンストアのさらなる拡大、物価の安定と日本国民の豊かな消費社会への一助として貢献することになると信じております。

常に生産性の向上と業務効率などの改善に努め、その成果をお客様に還元する努力を続ける当社の企業理念を、株主の皆様には是非ご理解いただき、今後とも引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

「店内作業のプロ」として 棚卸サービスで教育された優れた人材を派遣。 リテイルサポートサービスが拡大しています。

棚卸サービスで築いたお客様との信頼関係が生む チェーンストアの新たなアウトソーシングニーズ

平成19年4月1日に、人材派遣業の㈱コマーシャルサービスシステム・ジャパンは商号を変更、エイジススタッフサービス㈱として新生しました。その背景には、エイジスグループが実地棚卸サービスを提供しているお客様から、レジ派遣や集中補充、生鮮技術者などの派遣を望む声が以前から多く寄せられていた経緯がありました。当社の人材は、お客様の資産である商品を取り扱う業務を委託されているので、信頼関係が何よりも重視されます。その信頼を確立することによって、実地棚卸サービス以外でも、当社の人材に対する委託の要望が、チェーンストアを中心に高くなっております。

教育された優秀な人材が リテイルサポートサービスの可能性を拓く

エイジスグループの人材戦略は、体系だった教育研修を通して、蓄積したビジネスノウハウの共有化を図っております。当社には、エイジスの実地棚卸サービスの経験と教育研修によりチェーンストアの業務知識とマナーを習得した、優れた人材が数多くいます。そうした人材は、お客様企業にとっても、優秀な人材となります。エイジススタッフサービス㈱は、これらの教育された優秀な人材をお客様に派遣してまいります。

単なる人材派遣ではない、競争力ある 「新たなビジネスモデル」を展開

エイジススタッフサービス㈱では、チェーンストアの各種業務をアウトソーシングとして受注するために、まずは三つの派遣用途に焦点を当てた営業をはじめました。それがレジ

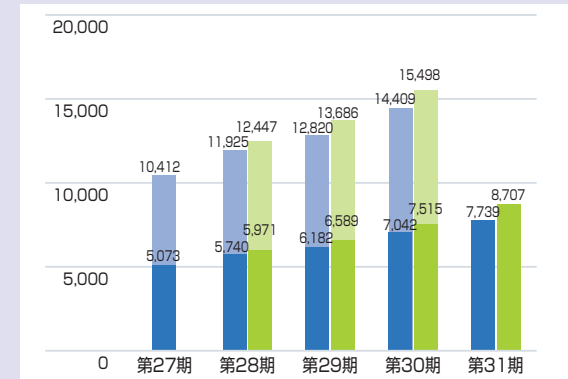


派遣、集中補充および生鮮技術者派遣です。例えば、食品、菓子、雑貨、日配の定番売り場などへの集中補充サービスでは、営業時間外に補充作業を行います。これまで、アルバイトや正社員によって対応していた補充作業を当社グループのサービスに切り替えることで、毎日完成された売場として、オープンできることをはじめ、発注精度の向上、倉庫在庫の削減・適正化などが実現可能です。また、社員の残業時間を削減したり、入れ替わりが多いパートやアルバイトの求人費や研修コストも削減できます。レジ派遣では事前の研修が通常2週間程度必要となりますが社内研修の充実により短期間で研修を終了し派遣を行うことができます。生鮮技術者の派遣においても、単なる人材派遣ではなく、生鮮の技術を持った人材を派遣していきます。エイジススタッフサービス㈱は単なる人材派遣ではなく、流通業に特化した新しいビジネスモデルを展開することによって、競争力のあるビジネスへと発展させていきます。

人材派遣事業の当中間期売上高は778百万円、前年同期比64.7%増と大幅に業績が向上しました。その背景には、需要に応えられる人材の提供が可能になったことがあります。今後は、リテイルサポートサービスにおいても、さらなる各種サービスの向上に全力を注いでまいります。

売上高

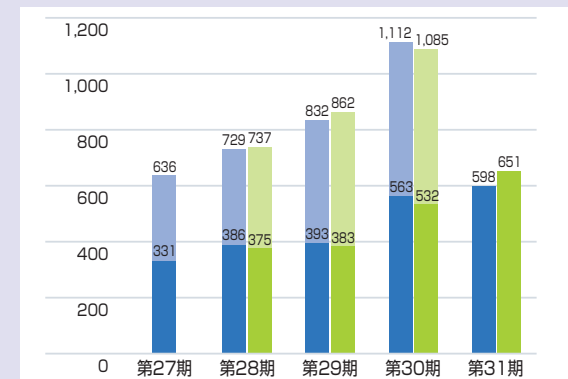
(単位：百万円)



新規顧客の獲得および既存顧客の受注増に加え、当期よりエイジス韓国が連結対象子会社となったこと等により、当中間期の連結売上高は前年同期比15.9%増の8,707百万円となりました。

中間（当期）純利益

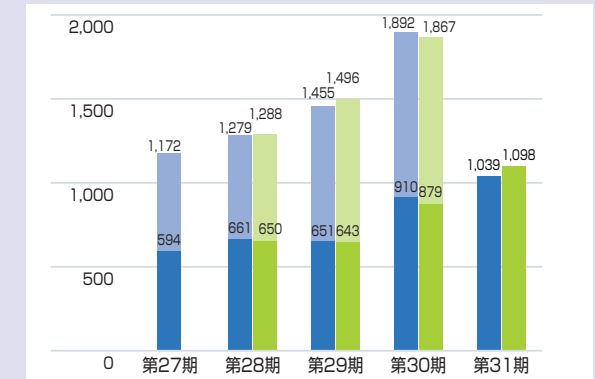
(単位：百万円)



前年同期に発生した役員退職慰労特別功労金がなくなったこと、前年同期に比べ特別損失が減少したこと等により、連結中間純利益は前年同期比22.4%増の651百万円となりました。

経常利益

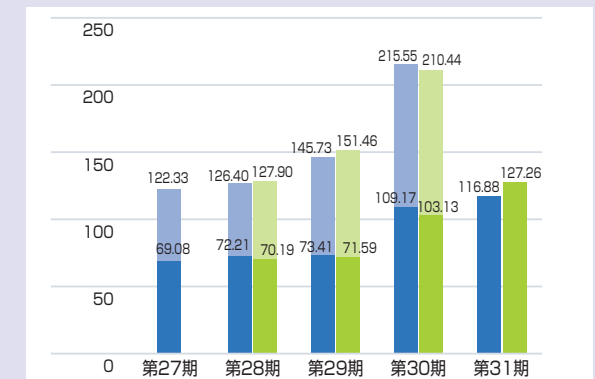
(単位：百万円)



組織強化の為の人材採用とシステム投資等により、販売費及び一般管理費は増加したものの、新棚卸オペレーションの導入等により当中間期の連結経常利益は前年同期比24.8%増の1,098百万円となりました。

1株当たり中間（当期）純利益

(単位：円)



中間純利益の増加により、連結1株当たり中間純利益は前年同期の103.13円から増加し、127.26円となりました。

単体 ■ 中間期 ■ 通期 連結 ■ 中間期 ■ 通期 第27期はエイジス単体のみを表示しております。

【実地棚卸サービス事業】

実地棚卸サービス事業の売上高は、前年同期比13.0%増の7,843百万円となりました。

〔国内棚卸受託収入〕

国内棚卸受託収入の売上高は、前年同期比10.2%増の7,596百万円となりました。業態別の内訳は下記のとおりです。

●コンビニエンスストア

既存顧客の受注増により、売上高は前年同期比3.8%増の1,619百万円となりました。

●スーパーマーケット

新規顧客の獲得および既存顧客の受注増により、売上高は前年同期比8.2%増の1,083百万円となりました。

●ホームセンター・ドラッグストア・ディスカウントストア

既存顧客の受注増により、売上高は前年同期比8.3%増の1,608百万円となりました。

●書店

新規顧客の獲得および既存顧客の受注増により、売上高は前年同期比11.0%増の527百万円となりました。

●G.M.S.（注）

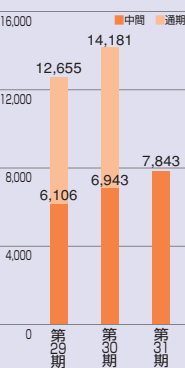
既存顧客の受注増により、売上高は前年同期比8.6%増の1,035百万円となりました。

●その他

新規顧客の獲得および既存顧客の受注増により、売上高は前年同期比21.2%増の1,722百万円となりました。

（注）G.M.S.（General Merchandise Store）…大衆実用品のうち、新機能開発品主力の総合店。いわゆる日本型大型スーパーであります。

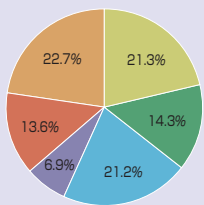
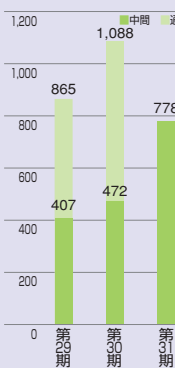
実地棚卸サービス事業
売上高（単位：百万円）



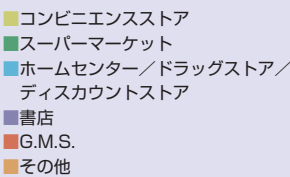
その他の流通業周辺サービス
事業売上高（単位：百万円）



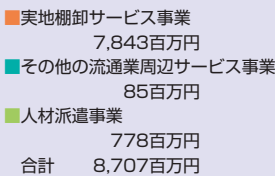
人材派遣事業売上高
（単位：百万円）



国内棚卸受託収入の業態別売上高 構成比



連結事業の種類別売上高 構成比



〔海外棚卸受託収入〕

当中間連結会計期間よりエイジスビジネスサポート㈱を連結の範囲に含めました。新規顧客の獲得により、売上高は189 百万円となりました。

【その他の流通業周辺サービス事業】

平成19年4月1日付けでカスタマーサービス・チェック（以下「CSC」という。）事業部門を分社化して子会社としました。その他の流通業周辺サービス事業の新規顧客を獲得しましたが、CSCの売上高が減少したことにより、売上高は前年同期比14.1%減の85百万円となりました。

【人材派遣事業】

流通業の既存顧客の受注増により、売上高は前年同期比64.7%増の778百万円となりました。

上記のとおり、国内と海外の棚卸受託収入の合計は7,786百万円となり、ロイヤリティ収入の57百万円を加えると、実地棚卸サービス事業の合計は7,843百万円（前年同期比13.0%増）となりました。その他の流通業周辺サービス事業の売上高85百万円、人材派遣事業の売上高778百万円を加えた当中間連結会計期間の売上高は8,707百万円（前年同期比15.9%増）となりました。

収益面では、経常利益1,098百万円（前年同期比24.8%増）、中間純利益651百万円（前年同期比22.4%増）となりました。

中間連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

	当中間期 H19.9.30現在	前中間期 H18.9.30現在	前 期 H19.3.31現在
資産の部			
流動資産	5,681	4,787	5,286
固定資産	2,261	2,132	2,290
資産合計	7,942	6,920	7,576
負債の部			
流動負債	2,544	2,355	2,588
固定負債	121	101	97
負債合計	2,665	2,457	2,685
純資産の部			
株主資本	5,247	4,396	4,827
資本金	475	475	475
資本剰余金	489	489	489
利益剰余金	4,885	3,911	4,464
自己株式	△602	△479	△602
評価・換算差額等	8	67	63
少数株主持分	21	—	—
純資産合計	5,277	4,463	4,890
負債純資産合計	7,942	6,920	7,576

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結株主資本等変動計算書

当中間期 平成19年4月1日から平成19年9月30日まで	株主資本					評価・換算差額等			少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成19年3月31日残高	475	489	4,464	△602	4,827	63	—	63	—	4,890
中間連結会計期間中の変動額										
剰余金の配当			△217		△217					△217
中間純利益			651		651					651
自己株式の取得				△0	△0					△0
新規連結による減少			△13		△13					△13
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額（純額）						△58	3	△55	21	△34
中間連結会計期間中の変動額合計	—	—	421	△0	420	△58	3	△55	21	386
平成19年9月30日残高	475	489	4,885	△602	5,247	5	3	8	21	5,277

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

	当中間期 H19.4.1～H19.9.30	前中間期 H18.4.1～H18.9.30	前 期 H18.4.1～H19.3.31
売上高	8,707	7,515	15,498
売上原価	6,380	5,525	11,403
売上総利益	2,326	1,989	4,094
販売費及び一般管理費	1,243	1,123	2,247
営業利益	1,082	866	1,847
営業外収益	23	14	28
営業外費用	7	1	8
経常利益	1,098	879	1,867
特別利益	—	95	94
特別損失	1	44	45
税金等調整前中間(当期)純利益	1,096	931	1,917
法人税、住民税及び事業税	451	361	788
法人税等調整額	△7	37	43
中間（当期）純利益	651	532	1,085

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

	当中間期 H19.4.1～H19.9.30	前中間期 H18.4.1～H18.9.30	前 期 H18.4.1～H19.3.31
営業活動によるキャッシュ・フロー	673	579	1,340
投資活動によるキャッシュ・フロー	△262	△178	△432
財務活動によるキャッシュ・フロー	△219	△330	△454
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	0	0
現金及び現金同等物の増加額	191	69	454
現金及び現金同等物の期首残高	2,548	2,094	2,094
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	32	—	—
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	2,772	2,164	2,548

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

	当中間期 H19.9.30現在	前中間期 H18.9.30現在	前 期 H19.3.31現在
資産の部			
流動資産	5,317	4,564	5,057
固定資産	2,402	2,251	2,408
資産合計	7,720	6,815	7,466
負債の部			
流動負債	2,380	2,212	2,444
固定負債	93	101	97
負債合計	2,474	2,313	2,541
純資産の部			
株主資本	5,241	4,434	4,860
資本金	475	475	475
資本剰余金	489	489	489
利益剰余金	4,878	3,949	4,498
自己株式	△602	△479	△602
評価・換算差額等	5	67	63
純資産合計	5,246	4,501	4,924
負債純資産合計	7,720	6,815	7,466

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間株主資本等変動計算書

（単位:百万円）

当中間期 平成19年4月1日から平成19年9月30日まで	株主資本								評価・換算差額等 その他有価証券 評価差額金	純資産 合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	株主資本 合計			
		資本準備金	その他資本剰余金	利益準備金	その他利益剰余金						
					特別償却準備金	別途積立金					繰越利益剰余金
平成19年3月31日残高	475	489	0	63	1	3,060	1,373	△602	4,860	63	4,924
中間会計期間中の変動額											
剰余金の配当							△217		△217		△217
中間純利益							598		598		598
自己株式の取得								△0	△0		△0
別途積立金の積立						800	△800		－		－
株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額（純額）										△58	△58
中間会計期間中の変動額合計	－	－	－	－	－	800	△419	△0	380	△58	321
平成19年9月30日残高	475	489	0	63	1	3,860	953	△602	5,241	5	5,246

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

	当中間期 H19.4.1～H19.9.30	前中間期 H18.4.1～H18.9.30	前 期 H18.4.1～H19.3.31
売上高	7,739	7,042	14,409
売上原価	5,685	5,194	10,637
売上総利益	2,053	1,847	3,772
販売費及び一般管理費	1,033	954	1,906
営業利益	1,019	893	1,866
営業外収益	25	17	34
営業外費用	6	1	8
経常利益	1,039	910	1,892
特別利益	—	95	94
特別損失	0	44	45
税引前中間（当期）純利益	1,038	961	1,941
法人税、住民税及び事業税	440	361	786
法人税等調整額	0	37	43
中間（当期）純利益	598	563	1,112

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

株式の状況（平成19年9月30日現在）

発行可能株式総数……………14,000,000株
発行済株式の総数……………5,385,600株
株主数……………2,368名

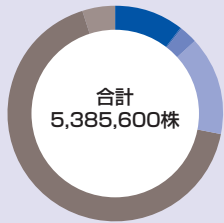
大株主（上位10名）（平成19年9月30日現在）

株主名	当社への出資状況	
	持株数（株）	出資比率（%）
斎藤陽子	678,800	12.60
斎藤昭生	674,980	12.53
斎藤茂昭	566,600	10.52
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	310,700	5.76
斎藤泰範	273,170	5.07
エイチエスピーシーバンクピーエルシーアカウント アトランティスジャパングロースファンド	206,890	3.84
小林美保子	172,200	3.20
斎藤茂男	160,400	2.98
ゴールドマンサックスインターナショナル	128,700	2.39
バンクオブニューヨークジーシーエム クライアントアカウントツィーアイエスジー	126,500	2.35

（注）当社は、自己株式265千株を保有しておりますが、当該株式には議決権がないため上記大株主から除外しております。

所有者別分布状況（平成19年9月30日現在）

■ 金融機関	558,440株（10.37%）
■ 証券会社	10,959株（ 0.20%）
■ その他の法人	143,830株（ 2.67%）
■ 外国法人等	797,780株（14.81%）
■ 個人・その他	3,609,271株（67.02%）
■ 自己名義株式	265,320株（4.93%）

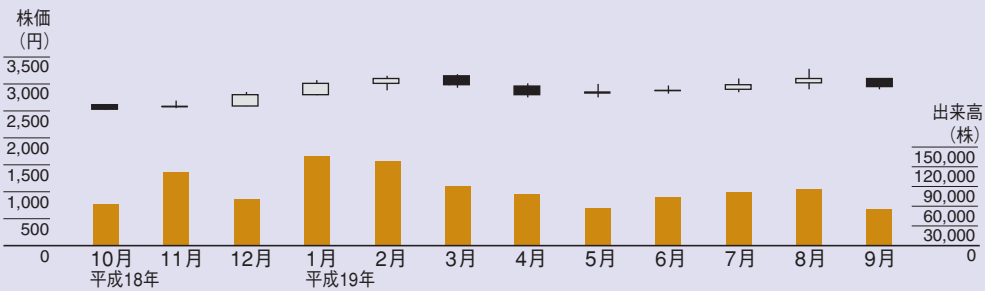


所有株数別分布状況（平成19年9月30日現在）

■ 1単元未満	3,350株（ 0.06%）
■ 1単元以上	250,510株（ 4.65%）
■ 5単元以上	87,080株（ 1.62%）
■ 10単元以上	384,650株（ 7.14%）
■ 50単元以上	150,194株（ 2.79%）
■ 100単元以上	509,160株（ 9.45%）
■ 500単元以上	436,396株（ 8.10%）
■ 1,000単元以上	1,643,880株（30.52%）
■ 5,000単元以上	1,920,380株（35.67%）



株価・出来高の推移



会社概要（平成19年9月30日現在）

会 社 名	株式会社エイジス (英文名 AJIS CO.,LTD.)
資 本 金	475百万円
設 立 年 月 日	1978年5月23日
従 業 員 数	226名 (248名 ※連結)
営 業 拠 点	直営45ヶ所 FC30ヶ所 (合計75ヶ所)
業 務 内 容	●実地棚卸サービス ●その他の流通業周辺サービス
主要取引銀行	●三菱東京UFJ銀行 千葉支店 ●みずほ銀行 千葉支店 ●三井住友銀行 千葉支店
ホームページ	http://www.ajis-group.co.jp/

取締役および監査役（平成19年9月30日現在）

取 締 役 会 長	芦 部 克 生
代表取締役社長	斎 藤 昭 生
常 務 取 締 役	近 江 元
常 務 取 締 役	山 地 琢 巳
取 締 役	仁 田 善 郎
取 締 役	竹之下 正 夫
取 締 役	高 橋 一 人
取 締 役	秋 葉 孝
取 締 役	五十嵐 亨 司
取 締 役	戸 丸 富志夫
取 締 役	山 根 洋 行
常 勤 監 査 役	鈴 木 行 雄
監 査 役	安 田 登

主要取引先（平成19年9月30日現在）

コンビニエンスストア		
エーエム・ピーエム・ジャパン サークルKサンクス スリーエフ	セーブオン セブンイレブン・ジャパン デイリーヤマザキ	ファミリーマート ミニストップ ローソン
G.M.S.スーパーマーケット		
イオン イズミ イズミヤ イトーヨーカ堂 いなげや オークワ オギノ カスミ 関西スーパーマーケット コープこうべ コープネット事業連合 サミット	西友 ダイエー 大黒天物産 東急ストア トヨタ生協 とりせん 長崎屋 原信 パロー 平和堂 ベシア マイカル	マックスバリュ マルエツ 万代 みやぎ生協 ヤオコー ヤマナカ ユーコープ事業連合 ヨークベニマル ライフコーポレーション

百貨店		
大丸 高島屋 天満屋	阪急百貨店 阪神百貨店 松坂屋	松屋 丸井 三越

ホームセンター/ドラッグストア/ディスカウントストア		
アークランドサカモト アライドハーツ・ホールディングス カーマ カインズ カワチ薬品 クスリのアオキ クリエイト エス・ディー ケーヨー コーナン商事	サンドラッグ CFSコーポレーション 島忠 スギ薬局 セイジョー セキチュー 千葉薬品 ツルハ トステムビバ	富士薬品 PLANT ホームック マツモトキヨシ ユタカファーマシー ユニリビング ロイヤルホームセンター

書店		
旭屋書店 アシーネ ヴィレッジヴァンガードコーポレーション 紀伊國屋書店 三省堂書店 三洋堂書店	JR東日本リテールネット ジュンク堂書店 TSUTAYA 阪急電鉄（ブックファースト） 文教堂 文真堂書店	丸善 宮協書店 未来屋書店 有隣堂 リブロ

その他		
赤ちゃん本舗 アディダスジャパン エディ・パウアー・ジャパン エディオン ギャップジャパン キャンドゥ 丸九プラス クリスチャン ディオール クレアース日本 コーチ・ジャパン ゴジマ さくらや	ジョルジオ アルマーニ ジャパン ゼビオ セリア 千趣会 大創産業 東急ハンズ 東京シャツ ドン・キホーテ 西松屋チェーン ニトリ 日本トイザらス パル	ビックカメラ ヒラキ 藤久 ポイント やまや ユニクロ ライトオン 良品計画 ロフト ワークマン ワールド

※敬称・法人格は省略させていただいております。※50音順

●株式会社エイジス（平成19年9月30日現在）

青森D.O.	大宮D.O.	名古屋D.O.
盛岡サテライト	川越サテライト	四日市D.O.
秋田D.O.	千葉D.O.	岐阜D.O.
仙台D.O.	市原サテライト	金沢D.O.
山形D.O.	柏D.O.	富山サテライト
郡山D.O.	東京D.O.	大阪D.O.
小山サテライト	東東京サテライト	堺D.O.
宇都宮D.O.	南東京サテライト	東大阪D.O.
水戸D.O.	吉祥寺D.O.	奈良サテライト
土浦サテライト	八王子D.O.	京都D.O.
新潟D.O.	横浜D.O.	滋賀サテライト
高崎D.O.	厚木D.O.	神戸D.O.
長野D.O.	沼津D.O.	姫路サテライト
松本サテライト	静岡サテライト	岡山D.O.
熊谷サテライト	浜松D.O.	松江サテライト

●エイジス九州株式会社

広島D.O.	福岡D.O.	熊本D.O.
広島北サテライト	福岡東サテライト	宮崎D.O.
福山D.O.	久留米D.O.	鹿児島D.O.
山口D.O.	長崎D.O.	沖縄D.O.
小倉D.O.	佐世保サテライト	沖縄北サテライト
大分D.O.	佐賀D.O.	

●エイジス北海道株式会社

札幌D.O.	函館D.O.	帯広D.O.
札幌中央D.O.	旭川D.O.	釧路D.O.
苫小牧D.O.	北見D.O.	厚別D.O.

●エイジス四国株式会社

高松D.O.	松山D.O.	
徳島D.O.	高知D.O.	



●関連会社（平成19年9月30日現在）

エイジススタッフサービス株式会社（千葉市 人材派遣業）
エイジスビジネスサポート株式会社（大韓民国 ソウル特別市 実地棚卸サービス業）
ソウルD.O./ブサンサテライト/テジョンサテライト
大連愛捷是科技有限公司（中華人民共和国遼寧省大連市 システム開発等）
株式会社カスタマーサービス・チェック（千葉市 覆面調査）

（注）D.O.(ディストリクトオフィス)とは営業所のことです。
サテライトとは出張所のことです。